

(別掲 4)

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
なし							

雑誌

発表者名	論文タイトル名	発表紙名	巻	ページ	出版年
和田 清、高橋 伸彰	中学生の飲酒と家族・仲間	日本アルコール関連問題 学会雑誌	7	63-66	2005
和田 清	特集 青少年の危険行動の防止 薬物乱用	学校保健研究	47	389-396	2005
和田 清	中学生における薬物乱用から地域の 教育力を考える	思春期学	24	315-318	2006
和田 清	中学生における薬物乱用－ gateway drug の観点から－	小児科	47	1405-1411	2006
和田 清、近藤 あゆみ、高橋伸 彰、尾崎米厚、 勝野真吾	青少年の薬物使用問題－全国中学 生意識・実態調査（2004 年）から －	思春期学	24	70-73	2006
尾崎 茂、和田 清	Severity of Dependence Scale (SDS) の有用性について－「全 国の精神科医療施設における薬物 関連精神疾患の実態調査」におけ る使用経験から－	Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence	40	126-136	2005
尾崎 茂	Methylphenidate の薬理、乱用と依 存	臨床精神薬理	8	891-898	2005
尾崎 茂、和田 清	メチルフェニデート乱用・依存の 現状 オピニオン・メチルフェニ デートの有用性と有害性をめぐっ て	精神医学	47	595-597	2005
Shigeru Ozaki, Kiyoshi Wada	Characteristics of methylphenidate dependence syndrome in psychiatric hospital settings	Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence	41	89-99	2006
尾崎 茂、和田 清	睡眠薬乱用・依存の実態と対策	臨床精神薬理	9	2011-2016	2006
尾崎 茂、和田 清	ベンゾジアゼピン依存の疫学と国 際比較	臨床精神医学	35	1675-1981	2006

平成17～18年度厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

薬物乱用・依存等の実態把握と
乱用・依存者に対する対応策に関する研究
(H17-医薬-043, H17-医薬-一般-043)

平成17～18年度
総合研究報告書

主任研究者：和田 清（国立精神・神経センター 精神保健研究所）

2007年3月31日 発行